

桜の枝あし

第8回・似顔絵チャリティー会

3月27日(火)~4月15日(日)開催



▲上野中央通りの映画館路地を入った正面(昨年まで、おでんの屋台が出ていた場所)に、「似顔絵チャリティー・テント」を設置します。隣に「チャリティー屋台 BAR」のテントが並びます。

『◎ 集団・名入りのボンボリ』5灯を寄贈
すでに2月9日付で、上野のお山に点灯されるボンボリ5灯
(1灯6,300円×5灯=31,500円・消費税込)を寄贈しました。

●電燈は、今年は上野観光連盟から「発電機」を借ります。

●「桜まつり・似顔絵揮毫希望者」は、参加可能な日(または参加出来ない日)を、3月14日の「例会日」までに決めておいてください。[* 揮毫希望者で例会に出席出来ない方は、当日の3時までには、モロズミあてに連絡をお願いします。]

●「似顔絵会場」のテント張り作業日は、3月14日の例会席上で決めますが、いまのところでは3月22日(木)から25日(日)の間になる見込みです。

発行 似顔絵集団
【月刊】平成23年
2012・3月号
第547号

似顔絵集団
通信

連絡先(〒112-0013)
東京都文京区音羽1-14-8-602
(モロズミ方)
☎&FAX (03) 3942-0456

振替口座・00140-7-159813
【今月の編集発送人 / いご昭二】

◎...やっとならぬと“春の足音”が聞こえてくる季節になりました。「うえの桜まつり・チャリティー会」開催を前にしての総仕上げの『研修例会』です。チャリティー参加予定者はもちろんのこと、参加されない方も、他人の技術を見て自己の腕を磨く絶好のチャンスです。どなた様もぜひご出席ください。

【今月の集会係 / いご昭二・タムラ良・辻下浩二】

次回集会のお知らせ

とき **3月14日(水) 夜6時~9時**
(部屋のドアは5時50分開場)

ところ 北区・滝野川文化センター
2階第1学習室 (☎03-5394-1230)

◎今月の研究テーマ

- ① 『描いてもらって嬉しくなる似顔絵』
- ② 『色紙に2人をおさめる描き方』

▼今月の宿題(課題)作品

『いま話題の有名な人の似顔絵』
色紙に描いてご持参ください。「桜まつり」参加予定者は、会場に展示することを前提にして制作ください。

●『会報』掲載用には、25%に縮小した白黒コピーでご提出を！

●今月の議題『桜まつり詳細の打ち合わせ』

今月の「例会実習」は8時で終了し、その後「桜まつり会場設営日」「揮毫者調整」「時間・接客面」などについて話し合います。



紙上ギャラリー

■高橋 勲

■鈴木太郎

珍敷ハタ
イモトヤコ太

長友都選手

バナナマン

■原シヨウ

前回集会報告

●：2月例会は16日(木)午後6時から、北区・滝野川文化センター12階第1学習室で開かれた。天候は小雪(のち小雨)の寒い日だった。

●：その寒気にもめげず、参加者は例会係の鈴木太郎・大久保みどり・高橋敷さんはじめ(以下、名簿順に)いご昭二・黒田秀則・郷野明峰・五月女元恵・タムラ良・辻下浩二・中村澄代・永野ヒロ・原シヨウ・星山久子・ほんままさえ・まつなが陽一・溝口剛司・モロズミ勝の常連の皆さんのほか、ネットで似顔絵集団を検索して見学に来館された加藤修さんを含めて、計18名(うち女性4名)でした。

色紙に合った描き方・彩色法を研究

◎経過報告……いご昭二・記

夕方から雪が降り始めるほどの寒い日でした。鈴木太郎さんが用意した写真入りのコピーが配布されて例会が始まりました。「上野のさくら祭りまであと一カ月です。本番を見すえて、しっかりと描きましょう」の声で、会場の空気が引き締まりました。

コピー写真の鈴木福君(『マルモのおきて』で人気ブレイクの子役)を見ての色紙実習。背景に桜の花を入れるという条件付きでした。十五分間の予定が、全員、熱が入ったのか二十分後にやと終了。寒い日は、じっくりと心ゆくまで描きたい気持ちになります。続いて、コピー写真のAKB48・板野友美ちゃんを見ての実習。同じ年頃のギャルは、

さくら祭りの会場によく見かけます。実践練習には最適なタレントです。背景に人物とマッチする絵や模様を入れるという条件がありました。皆さん、黙々と筆を動かして、予定を十五分オーバーして終了。集中力が途切れません。ここで休憩。外に出ると街灯の光に照らされた雪が一段と強まっています。

七時四十分より太郎さんの講評がスタート。桜の花の描き方は人それぞれで、並べて比べると、個性の違いやデザイン的な処理の違いが分り勉強になります。昨年秋に結婚した太郎さんの息子さんのウエルカム・ボード(お父さんの力作ですが)これを示して、背景の描き方

や値段の相場の説明などもありました。続いてモデル実習に。昨今は、若い女性の似顔絵師が増えて、絵柄も女性的なものが多くなりました。輪郭線用の筆は何を使っているかのアンケートでは、毛筆と筆ペンの方が半々で、両方を使い分ける人もいました。他に人工筆や色鉛筆を使う人も、やはり自分の持ち味がいちばん発揮できる道具が何よりです。

(一)よく似ていること (二)男らしい風格が出ること (三)背景に模様を入れないこと、の三点が提示されました。全員が真剣に筆を動かして約二十分後に終了。やはり六十歳以上の会員の作品に洗い風格がよく出ていて、色紙の特徴も上手く生かしてありました。近藤日出造氏や清水直氏が全盛だった時代の男

らしいタツ子の似顔絵は今の時代だからこそ逆に稀少価値と必要性が増しているように思われました。輪郭線用の筆は何を使っているかのアンケートでは、毛筆と筆ペンの方が半々で、両方を使い分ける人もいました。他に人工筆や色鉛筆を使う人も、やはり自分の持ち味がいちばん発揮できる道具が何よりです。

モロズミさんから上野さくら祭りの説明があり九時少し前に解散。外へ出ると雪は止んでいました。女性一名を含む計八名が、駒込駅前の居酒屋で乾杯！上野の桜より先にヨモヤマ話に花を咲かせて、コンコンとふけゆく冬の夜を楽しみました。(いご記)



●AKB48 板野友美さん

白背景に何れも描き方



●鈴木福君 『マルモのおきて』で人気ブレイクの子役



▲鈴木太郎さんが用意した写真入りのコピー

芥川賞受賞作家 田中慎弥



■まつなが陽一

ほんまさんのお孫さん二人



ホイットニー・ヒューストン



黒木メイサ

■ほんままさえ

告知板

辻本さん「会友に」



これまで名誉会員だった辻本がくさん(84歳)が、ご本人からの申し出

により、今月から会友になられました。辻本さんはこれまで16回に渡る入退院を繰り返され、現在は自宅療養中ですが、歩行が困難になられ、またいつ入院されるかわからない状態のため、名誉会員辞退を決定されたようです。(2月16日)

会員が出品の「展覧会情報」

■『私の八月十五日展』3月3日(3月25日まで。21日休館。9時～夕5時。柴又・寅さん記念館の無料休憩室。モロズミ勝・鈴木太郎・泉ゆきを・ちばてつや他百二十二名

■『こどもの本の画家たち展』(東日本復興支援チャリティ)3月8日(14日。9時半～夜8時半(最終日5時まで)丸善日本橋店3階ギャラリー。ほんままさえ出品

「社会教育関係団体」として登録更新

似顔絵集団は、2月20日付で、北区の「社会教育関係団体」として登録更新を行ない、受理されました。これにより、3年後の平成27年3月まで、滝野川文化センターの会場費(第1学習室・夜間料金8千5百円)が半額の4千2百50円で使用出来ることになりました。が、今後は北区在住(または北区に勤め先を持つ)を中心に「新入会員」を

募ることが課せられています。【※】滝野川文化センターで、今年1月・2月に開催した『ロビー展』では、北区在住会員の募集を兼ねて開催しましたが入会者は1人もおりませんでした。◎なお、「社会教育団体」としての「似顔絵集団」・北区連絡先は(鈴木万さんが福島に移住されたため)黒田秀則さん宅に変更されています。